

図書館だより
 中央図書館 ☎258-6464
 火～金 10:00～19:00 土、日 10:00～18:00
 竹間沢分館 ☎274-1722
 火～日 11:00～18:00

1月の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |
| 8 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |
| 15 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |
| 22 | ★ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |
| 29 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 |

- 〈中央図書館〉
- ★新春おはなし会（昔語りと紙芝居）
 〈中央図書館にて申し込み受付中 電話可〉
 1月22日(日) 会場／中央図書館2階
 - 親子で楽しめるお話
 10:00～10:50 5歳～2年生 40人
 - 聞きこたえのあるお話
 11:00～12:00 3年生～おとな 40人
 - ぐりぐらタイム
 (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)
 - 第1・3金曜日
 11:00～11:15 6ヶ月～1歳(保護者同伴)
 11:20～11:40 2・3歳～(保護者同伴)
 - 第2・4火曜日 16:00～16:30 3歳～小学生
 - ブックスタート
 (4か月児健診時に、保健センターにて)
 - ◎ブックスタートプラス
 (2歳児歯科健診のあと、中央図書館にて)
 - ♥としよかん・くらぶ
 第4土曜日・会員制
 10:10～11:00 1・2年生 35人
 11:10～12:00 3～6年生 50人
 ※本の読み聞かせとブックトークで本に親しみます。

- 〈竹間沢分館〉
- ぐりぐらタイム
 (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)
 - 第4火曜日
 11:00～11:30 6か月～3歳(保護者同伴)
 - ◆スイミーおはなし会
 (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)
 - 第4木曜日 16:00～16:30 4歳～小学生

【地域文庫のお知らせ】
 (児童書の貸出、お話し会など。)

つくし文庫…1月21日(土)、10:00～12:00
 場所／上富第1区集会所にて

あらた文庫…開庫・火曜日、15:30～18:00
 場所／荒田自宅にて
 (藤久保536-4 三芳東中学校近く)

【児童書】『まや夢ごびつ』
 C・Vオールズバーグ 絵と文 村上春樹 訳
 河出書房新社 1994年9月初版発行
 請求記号 E 5 末

治療代のかわりに夢が現実になるいちじくをもらった偏屈な歯医者さんのロボットと飼犬のマルセルが見た夢とは…。セピア色で温もりある描写が不思議な世界へと誘う絵本です。

【一般書】『人はなぜ夢を見るのか』
 渡辺恒夫 著
 化学同人 2010年5月初版発行
 請求記号 145ワタ

夢ってどうして見るの？具体的な夢の事例を扱いながら、夢研究者たちが築き上げた様々な理論を用いたり、複数の科学的分析手法を使ったりして夢について考えた1冊です。

【児童書】『こぞうのはつゆめ』
 長谷川摂子 文 長谷川義史 絵
 岩波書店 2008年12月初版発行
 請求記号 UE シリーズ

秘密にしている夢がかなうと言われた坊主はおしょうさんにも夢の内容を話さなかった。その内に坊主はお寺を追い出されてしま…。日本の昔話が小型絵本になりました。

【一般書】『眠れない眠りたい―快眠のための10のステップ―』
 テイモシー J. シャープ 著 原田優人 訳
 創元社 2005年12月初版発行
 請求記号 498.36シ

本書は快眠できるようにするプログラムを10段階に区切って紹介したもの。毎日の忙しさに追われて、ついついツケが回ってしまいがちな睡眠。この本と一緒に見直してみよう。

図書館の本棚「初夢と快眠」―いい夢を見るには心地良い睡眠から― 別置紹介中

“聞く読書”の楽しさを味わってみませんか？

新春おはなし会
 この日は、ロシアの昔話「ゆきんこ」を

落語に親しむ会
 平成23年11月開催。好評でした！

落語の本の紹介も
 物語の世界に引き込まれて

教育 教育トピックス 「あつ、あぶない！」「ひやっ」とする 体験を通じた自転車交通安全教育



スタントマンによる仮想事故

「あつーあぶない！」
 「キキーン、ドカンッ！」
 自転車が飛び出して、自動車と衝突してしまいました！自転車を運転していた若者は大きく飛ばされて地面へ叩きつけられたままビクリとも動きません。この事故の一部始終を多くの三芳中学校の生徒と先生が目撃しました。目の前で起きた事故の恐ろしさに、皆息をのんでいます…。

実は、これは12月2日(金)に三芳中学校の校庭で行われた『スケアード・ストリート教育技法による自転車交通安全全教室』の一コマです。スタントマンによる仮想事故や違反行為の模擬演技を間近に見て、怖い思い、ひやっとする体験をすることで、交通安全意識の醸成と高揚を図ろうとするものです。

埼玉県は、自転車の過失が重い人身事故のうち、一時不停止による交差点事故が全国ワースト1位です。(平成22年)また、中学生・高校生が関係する事故も大変多くなっています。住民の皆さんも、交通事故につながる危険な場面



自転車事故の再現

を見かけたことがあるのではないのでしょうか。
 この日は、歩行者と自転車、自転車同士、自動車との衝突や左折時の巻き込み等、多くの事故の場面が再現され、その度に見学の生徒の表情が引き締まっていきました。「ひやっ」と、ハッと「する場面を見学したことで、自転車による交通事故の恐ろしさを実感することができたからです。」

…おっ。先ほどの青年も立ち上がって生徒に向かって手を振っています。どうやら生徒に事故の危険性をより深く認識してもらったための演出だったようです。

埼玉県警の方から、「事故を起こさうと思っている人はいない。それでも起きてしまうのが事故。だからこそ、小さな交通ルールを一つずつ確実に守ることが一番の予防法である。」という講話もいただきました。

最後に生徒の代表が、力強く「交通安全宣言」をしました。

「私たちは、交通ルールを守って、自転車による交通事故ゼロを目指します！」

【図学校教育課 (☎523)】

文化 みよし歴史探訪 文化財を訪ねて 第十回 育成されてきた雑木林

「昔の武蔵野は、菅原のはてなき光景をもって絶類の美を鳴らしていたように言い伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といつてもよい。」今から一四十年前(明治三十一年)に著した『武蔵野』の中で国木田独步はこう述べています。

武蔵野の一角に当たる三芳も、かつて一面の茅原でした。江戸時代になり、畑の開拓がされるようになると林も多くなりまりました。私たちが、自然の雑木林と想いたくなる町内の林は、そのほとんどが開拓の際にナラやクヌギを植えて育ててきた人工林なのです。

武蔵野の開拓は、藤久保や北永井、上富をみてわかるように、村の中央に道を通し、道の両側に面して開拓者の住居、その奥に畑を開墾し、最奥にナラやクヌギを植えて林を作り上げていきました。江戸時代の検地帳を見ると、現在の雑木林に当たる部分も畑として年貢が課せられ、生産地としてみられていたことがわかります。では、何を生産していたとされたのでしょうか。

実は、生活や欠かせない燃料としての「薪」の生産地とされたのです。今でこそ、杉や檜に対して「その他の雑木」の意味合いで雑木林と呼ばれますが、武蔵野の林の木々は、決して「雑木」ではないのです。独歩の『武蔵野』にも、「雑木林」という言葉は



▲落ち葉掃き体験の様子

『体験落ち葉掃き』開催
 日時：1月21日(土)
 午前10時～
 午後1時30分
 場所：木ノ宮地蔵堂周辺 山林
 ※詳細は、25ページ2番のお知らせをご覧ください。

使われていません。
 雑木林のことを、地元では古くから「ヤマ」と呼んでいました。農家にとっては、様々な恵みをもたらしてくれる、まさに宝の「ヤマ」だったので。一月から二月にかけてはヤマ掃きのシーズンです。町では農業文化や知恵を学ぶ「体験落ち葉掃き」を行いますので、この機会に「ヤマ」を体験してみたいかがですか。

【図学校教育課 (☎517)】